

研究セミナー（第 21 回）・会員交流会（第 10 回）報告

去る 2024/7/6（土曜）13 時 30 分から 16 時まで、かでの 2.7 の 760 会議室において、研究セミナーと会員交流会を同時開催しました。参加者はオンライン参加者 2 名を含む 18 名、このうち 3 名が当時非会員でした。Zoom を利用したハイブリッド形式の開催です。



発表内容は、然別湖湖畔や然別川上流の菅野温泉付近に見られる縞状を示す湖沼堆積物についての解説（岡氏）。十勝の教師グループは自転車で走り回り、時代の異なる恵庭古砂丘と支笏古砂丘を発見。「化石先生は夢を掘る」に紹介されている曲を美声でご披露され、一同うっとり！（木村氏）。星野宅近くの澄川南小学校に出かけ、2 学年の校区探検の課題として、50 年前の空き地に飛来したポプラの種子が見事な自然林になっているのを観察してはどうかと、教頭先生に資料を持参し、申し入れをした経緯（星野氏）。マダガスカル の 5 億年-35 億年前の片麻岩とバオバブの木の花の映像、インド西部ムンバイ飛行場付近のフラミンゴなどを美しい写真で紹介。時間的に紹介しきれなかった分は、次回の研究セミナーに持ち越し（石崎氏）。2023-24 の冬は気温の上下変動が激しく、融雪が遅かったことを積雪変化グラフにより提示（宮下氏）。古倶知安湖の現地見学会を 8 月 31 日開催。地下鉄真駒内駅 8:00 集合、会費は 3000 円。参加の誘いがあった！（関根氏）

終了時間ギリギリまで活発な質疑がかわされ、盛会裡に終了しました。

以下は当日の発表プログラムです.

(前半司会： 星野フサ)

岡 孝雄： 然別火山群（新・旧期）の形成前に存在した中期更新世のカルデラ湖

木村方一： 図書「北海道絶滅動物館」出版への道のり

(後半司会： 岡村 聡)

星野フサ： 小学校での校区探検－空き地の植物調査－についての報告

石崎俊一： フォトギャラリー_自然編

宮下純夫： 2023-24年の冬

関根達夫： 「2024/08/31 古俱知安湖の現地見学会（最終間氷期勉強会主催，HRCG共催）」の概要

研究セミナー終了後，札幌駅近くに会場を移し，懇親会を開催しました．14名が参加し，盛会となりました．

また，会場の様子は嵯峨山さんの撮影です．報告文の調整は，幹事会と情報基盤整備担当の川村さんにお世話になりました．会にご参加のみなさまも含め，感謝申し上げます．

なお，次回の研究セミナー（第22回）・会員交流会(第11回)は，10月5日（土）13時30分～16時，かでの2.7 610会議室（定員30名）を予定しています．

以上

(文責： 星野フサ)